

2022年2月期(第50期)

# 決算説明会



イオン九州株式会社

2022年4月8日(金)

1. 2022年2月期(2021年度)の業績
2. 2022年2月期の主な取り組み
3. 2023年2月期(2022年度)の主な取り組み
4. 2023年2月期 業績予想

1. 2022年2月期(2021年度)の業績
2. 2022年2月期の主な取り組み
3. 2023年2月期(2022年度)の主な取り組み
4. 2023年2月期 業績予想

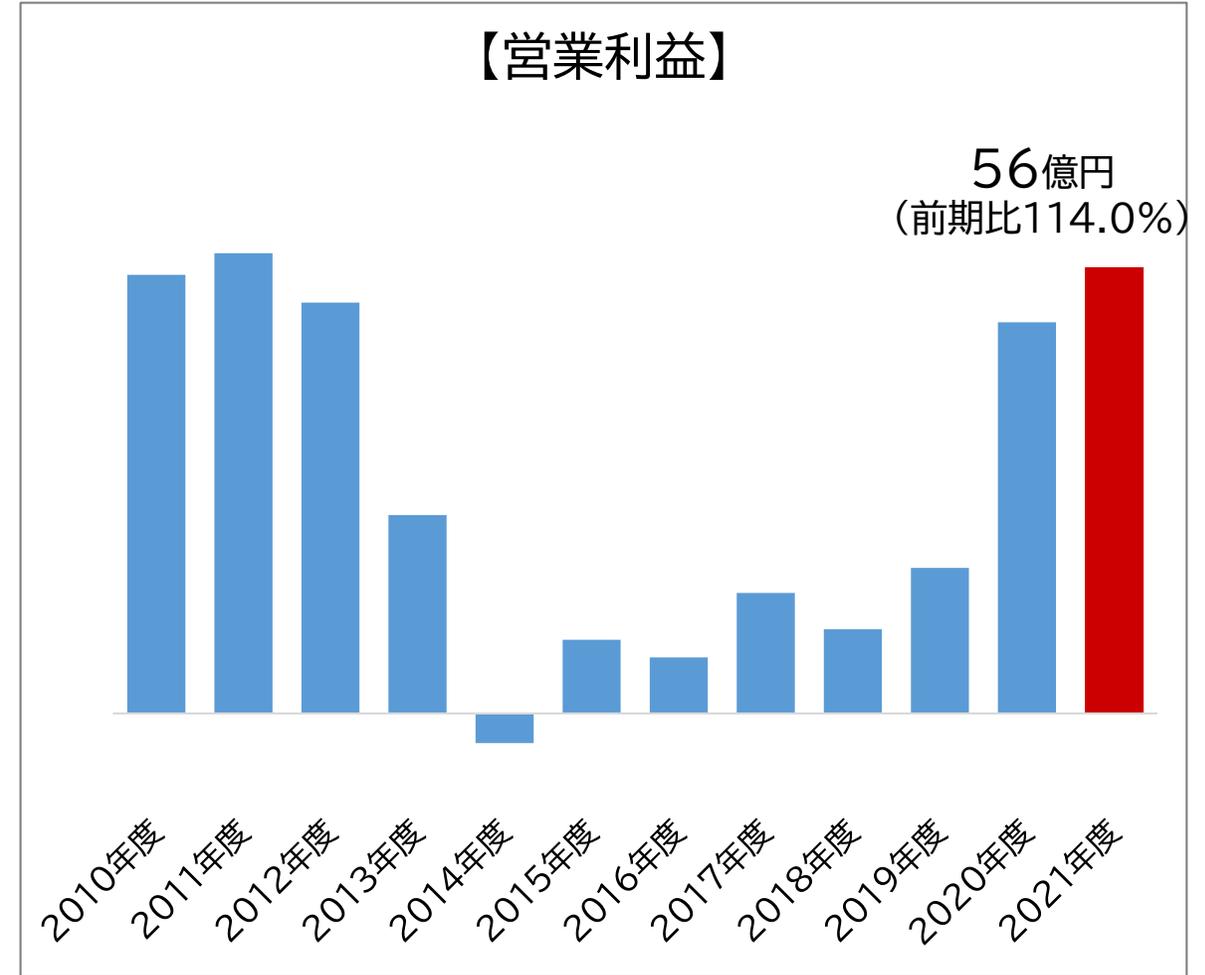
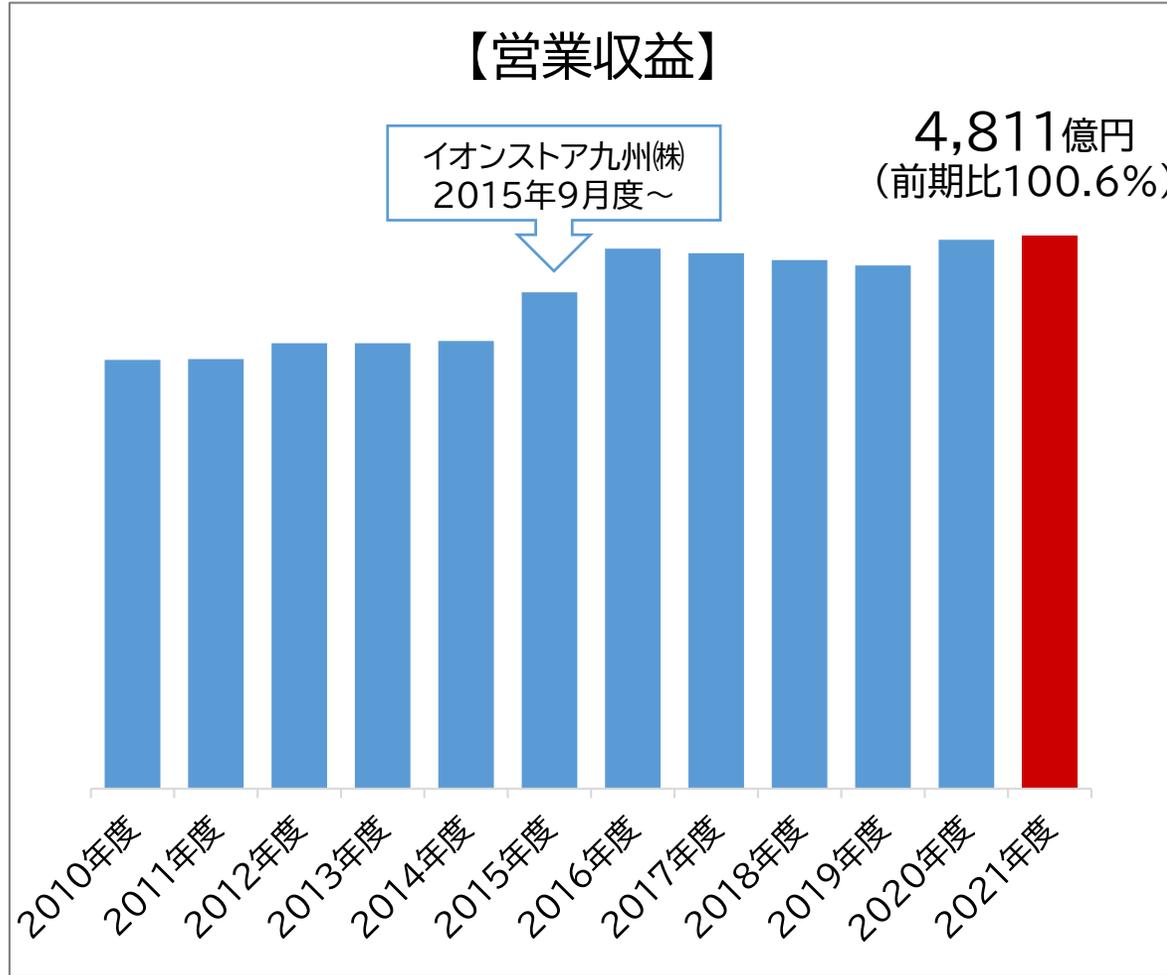
## 営業収益、各段階利益ともに当初公表を上回り過去最高を更新

- コロナ影響長期化の中で、売上構成比が高い食品が当初想定を上回り好調に推移
- DX推進等による生産性向上の取り組みを実施し、経費率が低減

(百万円)	実績	当初公表比	前期比	(※ご参考) 旧3社合計比較
営業収益	481,199	100.2%	138.2%	100.6%
営業利益	5,663	166.6%	180.4%	114.0%
経常利益	5,994	176.3%	177.7%	※マックスバリュ九州(株)及びイオンストア九州(株)の2020年度上半期業績を含めた3社合計との比較をしています。
当期純利益	2,770	184.7%	139.5%	
1株当たり配当金	20円 (普通配当15円+記念配当5円)	+5円	+5円	

# (※ご参考)旧3社合計の業績推移

- 旧3社合計での業績としては、営業収益は過去最高、営業利益は過去最高の水準
- 経営統合(2020年9月1日付け)後の業績は順調に推移



※マックスバリュ九州(株):2002年3月度～2020年8月度

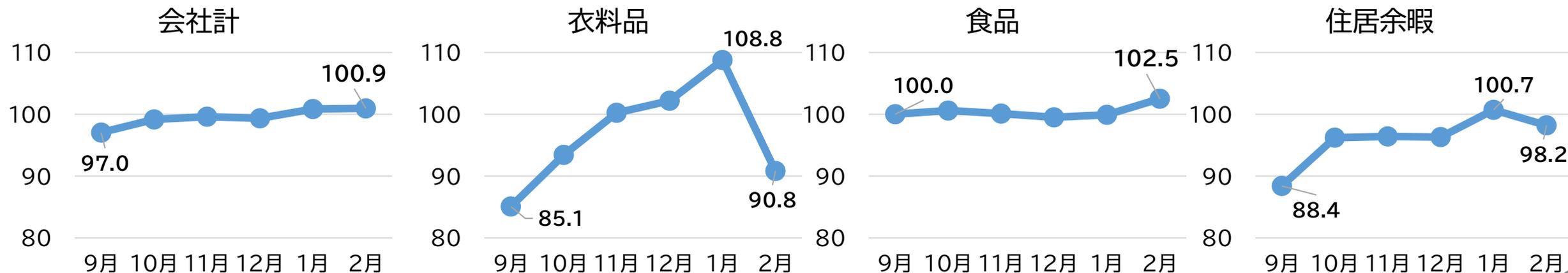
イオンストア九州(株):2015年9月度～2020年8月度

# 2022年2月期の業績(収益面)

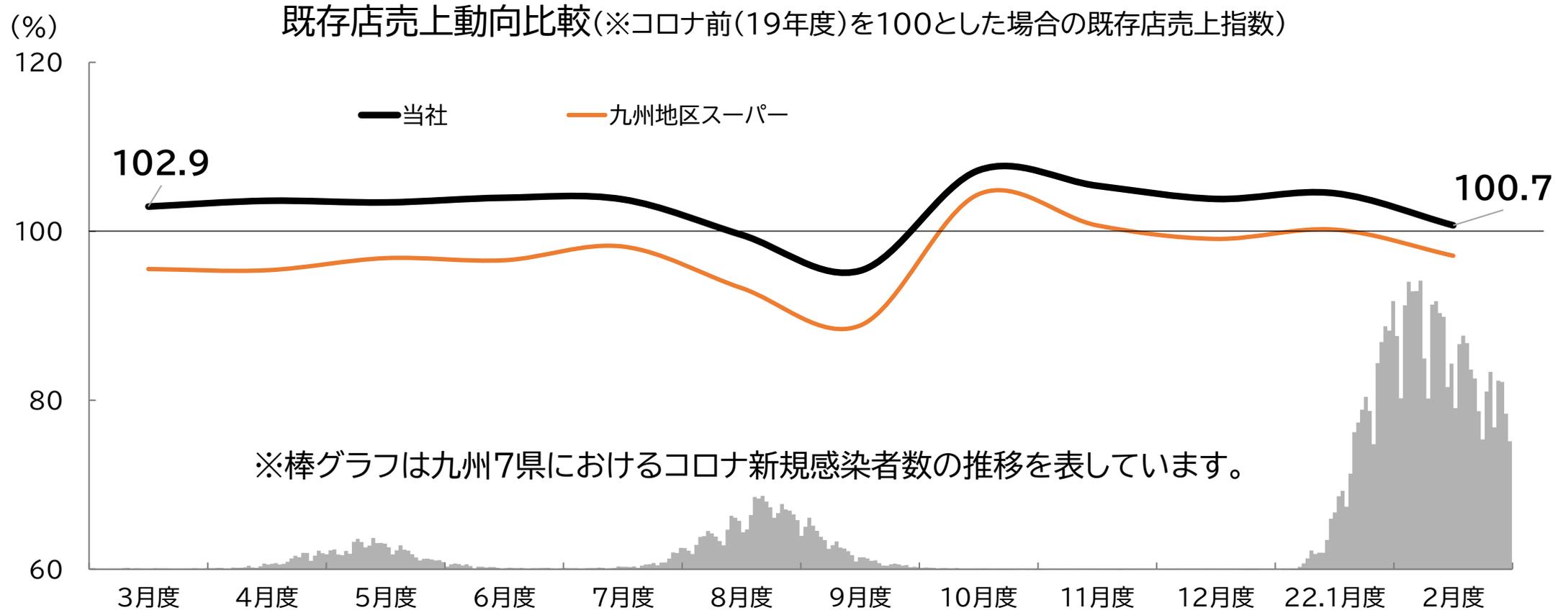
- (下半期)感染再拡大の影響はあったものの、食品は好調継続、衣料品・住居余暇は改善傾向
- (通期)旧3社合計比較において、売上高、営業総利益ともに増加

(百万円)	下半期		年間			(ご参考) 旧3社合計比較
	実績	前年同期比	実績	売上比	前期比	
売上高	231,046	99.6%	460,925	100.0%	139.6%	100.8%
売上総利益	60,753	98.7%	121,134	26.3%	136.5%	100.6%
その他営業収入	10,235	98.8%	20,274	4.4%	112.1%	97.1%
営業総利益	70,988	98.7%	141,408	30.7%	132.3%	100.1%

【下半期既存店売上高前期比(%)】



- 当社の持つマルチフォーマットの強みを発揮し、お客さまのニーズの変化に対応
- コロナ影響長期化の中で、既存店の売上は概ねコロナ影響前(19年度)の水準を上回る



※1 当社の既存店売上指数は、経営統合による承継店舗を含む既存店の実績比較を表しています。

※2 九州地区スーパーの指数は、(経済産業省)商業動態統計をもとに当社にて算出しています。

# 2022年2月期の業績(経費面)

- (下半期)今後の成長に向けて、新規出店や既存店活性化、デジタル関連投資の継続実施
- (通期)旧3社合計比較において、販管比率が△0.3pt改善

(百万円)	下半期		年間			(ご参考) 旧3社合計比較
	実績	前年同期比	実績	売上比	前期比	
売上高	231,046	99.6%	460,925	100.0%	139.6%	100.8%
営業総利益	70,988	98.7%	141,408	30.7%	132.3%	100.1%
人件費	32,846	99.5%	64,669	14.0%	132.2%	99.6%
販促費	7,322	93.6%	14,745	3.2%	127.2%	99.7%
設備費	23,095	102.9%	47,233	10.2%	130.2%	100.4%
一般費	4,639	102.2%	9,097	2.0%	131.5%	95.3%
販管費計	67,904	100.1%	135,745	29.5%	130.9%	99.6%
営業利益	3,084	74.9%	5,663	1.2%	180.4%	114.0%

# 2022年2月期の業績 ～ 業態別売上の状況(半期別) ～

- (上半期)前期の反動影響でSM・DS、HC業態の売上が前年割れ、GMS業態は伸長
- (下半期)コロナ影響長期化でGMS衣料品・住居余暇、HCが前年割れ、SM・DS、GMS食品は好調

(%)	上半期			下半期			年間		
	売上 構成比	既存比	19年比	売上 構成比	既存比	19年比	売上 構成比	既存比	19年比
SM・DS	46.6	99.1	107.1	46.2	100.2	105.2	46.4	99.6	106.1
GMS	48.4	102.2	98.4	49.3	99.1	100.1	48.9	100.6	99.2
衣料品	8.8	108.1	82.0	9.7	97.5	90.0	9.3	102.4	85.9
食品	31.7	103.3	107.5	31.8	100.4	106.6	31.8	101.8	107.0
住居余暇	7.9	92.6	89.2	7.8	96.0	90.4	7.8	94.3	89.8
HC	4.1	92.8	110.9	3.8	95.1	109.9	4.0	93.9	110.3
その他	0.9	96.0	104.2	0.6	101.6	109.7	0.7	100.0	106.1

※ 既存比は、経営統合による承継店舗を含む既存店の前年同期比を表しています。

# 2022年2月期の業績 ～ 貸借対照表 ～

(単位:百万円)	2022年2月期末		
	実績	構成比	前期末からの増減
流動資産	46,221	29.3%	△4,180
固定資産	111,675	70.7%	△6,151
資産合計	157,896	100.0%	△10,331
流動負債	81,832	51.8%	△8,598
固定負債	34,020	21.5%	△3,967
負債合計	115,853	73.4%	△12,566
純資産合計	42,043	26.6%	+2,234
負債・純資産合計	157,896	100.0%	△10,331
有利子負債	37,045	23.4%	+696
	<b>(※曜日まわり影響を除いた場合の有利子負債増減額</b>		<b>△6,075)</b>

1. 2022年2月期(2021年度)の業績
- 2. 2022年2月期の主な取り組み**
3. 2023年2月期(2022年度)の主な取り組み
4. 2023年2月期 業績予想

- 「好きな時間に受け取りたい」「できるだけ人と接触せずに買い物したい」というお客さまのニーズに対応した非接触型サービスの拡大

## ネットスーパー

マックスバリュの  
ネットスーパー  
オンラインデリバリー



【オンラインデリバリー】SM6店舗導入

おうちでイオン  
イオンネットスーパー



【受取ロッカー】GMS5店舗、SM7店舗  
駅ロッカー2箇所設置

## Eコマース

イオン九州 オンライン



【イオン九州オンライン】リニューアル  
・「九州のいいもの うまいもの」拡充  
・「ホームワイドプロ」新規オープン  
・楽天市場店を出店

## フードデリバリー



【Wolt】  
GMS4店舗、SM7店舗導入

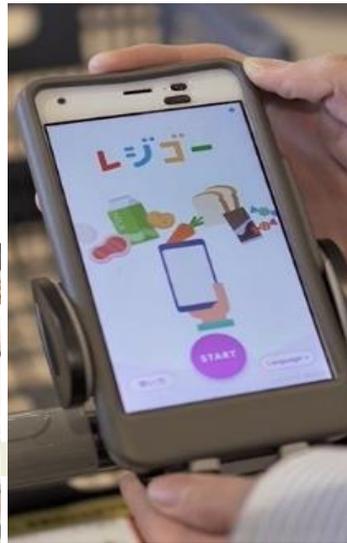
【Uber Eats】  
フランチャイズ事業5店舗導入

- お客さまのレジ待ち時間の短縮、店舗における生産性の改善に向け、レジのスマート化を推進
- イオン九州公式アプリの利用店舗をSM・DS・HC業態にも拡大し、利便性を向上

## レジのスマート化

# レジゴー

お買い物しながらセルフレジ



【どこでもレジ レジゴー】17店舗に導入

期末時点のセルフレジ導入済店舗数：  
 【キャッシュレスセルフレジ】 55店舗  
 【フルセルフレジ】 102店舗  
 【お支払いセルフレジ】 164店舗

## アプリ



【イオン九州公式アプリ】リニューアル  
 ・利用店舗の拡大  
 ・クーポン、お客さま参加型企画の拡充  
 ・「iAEON」との連携

## その他



【電子棚札】SM7店舗導入



店頭デジタルサイネージの活用

- (新規出店)SM業態4店舗、DS業態1店舗
- (既存店活性化)SM業態18店舗、DS業態2店舗、GMS業態5店舗
- (業態変更)SM⇒DS 3店舗

## SM業態

毎日の買い物に便利な店舗



## DS業態

生鮮強化型ディスカウントの構築



## GMS業態

地域に根差したショッピングセンター



# 2022年2月期の主な取り組み ～ 食品改革 ～

- SM・GMS業態を一体化した事業部を県単位に配置し、より地域に密着した商品展開を推進
- 当社オリジナル商品開発、お取引先さまとのコラボレーション企画を推進
- 「本気の価格1000品目」「50周年おすすめ価格」等、生活応援施策を強化し、客数増



熊本県西原村の「シルクスイート」(12月)



北海道「セイコーマート」PB商品展開



「本気の価格1000品目」展開強化



「さつま芋チップス」「大学芋」「芋まんじゅう」



お取引先さまとのコラボ企画



「50周年月間おすすめ価格」開始

# 2022年2月期の主な取り組み ~ GMS改革 ~

- 「インナー&カジュアル」SM併設型モデルを2店舗に導入
- アウトドア、ウォーキングやおうちフィットネス関連商品、ウェルネスフード等の展開強化
- SNS等を活用した情報発信、先行予約会の実施、お客さま参加型企画の実施



「インナー&カジュアル」をSM店舗に導入



「スポージアム」売場の導入



SNSを活用した  
情報発信

Instagram Live

九州限定  
おトクをON カードでON 感謝を込めてON 返し  
**ALLイオン  
大謝恩祭**

7/8(木)16:00~



新たなブランドの導入



アウトドア商材の展開強化

## プロ業態



【新店】ホームワイドプロ2号店  
約4万点の豊富な品揃えを実現



HOMEWIDE  
**PRO**

イオン九州オンラインショップ

『 **PRO FIRST** 』

職人に愛される店をめざして

## 既存店の活性化



【活性化】園芸用品の品揃え拡充



## SNS活用・WIDE便拡大



【情報発信】SNSの活用



# 2022年2月期の主な取り組み ～ 館全体の収益力向上 ～

- (サイクル事業)GMS店舗内へのイオンバイク出店を継続と当社オリジナルブランド展開
- (フランチャイズ事業)スイーツ・カフェ店舗出店及び移動販売取り組み
- 店舗スペースを活用した「キッチンカー」展開や催事企画の強化による収益確保



【イオンバイク】GMS店内への出店推進



【FC事業】ロイズチョコレート  
移動販売車で各店舗を巡回



(店頭)「キッチンカー」展開



【FC事業】2つのブランドを隣接して展開



(SC内)催事企画の強化

## 九州・山口に多様な業態321店舗を展開

	SM	DS	GMS	HC	その他	合計	期首からの増減
福岡県	60	15	25	3	22	125	+2
佐賀県	12	9	4	2	3	30	+3
長崎県	21		9	2	3	35	0
熊本県	20	6	7	2	5	40	0
大分県	13	2	6	13	3	37	+1
宮崎県	15		7	8	2	32	+1
鹿児島県	12		6		3	21	0
山口県				1		1	0
<b>合計</b>	<b>153</b>	<b>32</b>	<b>64</b>	<b>31</b>	<b>41</b>	<b>321</b>	<b>+7</b>
期首からの増減	0	+4	△2	0	+5	+7	

※ 期中にSM3店舗をDSへ業態変更しています。

1. 2022年2月期(2021年度)の業績
2. 2022年2月期の主な取り組み
- 3. 2023年2月期(2022年度)の主な取り組み**
4. 2023年2月期 業績予想

## 2025年に向けた取り組み

九州の「もっと」を創造し、  
九州の発展とくらしの豊かさ、  
そして、持続可能な社会づくりに  
貢献できる企業であり続けるため、  
5つの取り組みを進めてまいります。



## ・SM(食品)改革

地域商品開発、都市型小型店、PC機能拡充

## ・GMS(衣料、住居余暇商品)改革

専門店化推進、SNS活用、Eコマース強化

## ・HC再成長

ディスティネーション構築、ワイド便推進

## ・DX推進

CXとEXをともに満たすDX推進

## ・新業態、新事業開発

## ・人財育成、組織改革

## ・サステナブル、環境保全・社会貢献

持続可能な社会の実現に向け、取り組み継続

CXとEXを  
ともに満たす  
DX

# イオン九州のDX=CXとEXをともに満たす「DX」

2025年  
デジタル売上

500億円

21～25年  
DX総投資

120億円

お客さま  
満足

## CX(顧客体験)を向上させるためのDX

- ・ライフスタイルの多様化に対応する買い物選択肢の拡大
- ・快適でストレスのないリアル店舗買い物体験の構築

従業員の  
自己実現

## EX(従業員体験)を向上させるためのDX

- ・過去のビジネスモデルに最適化された業務プロセスの見直し
- ・定型作業をデジタル化、AI化、ロボ化し知覚と意思が必要な業務へ
- ・従業員の幸福度を高める多様な働き方の実現

## DX重点取組領域

- |                 |                 |            |
|-----------------|-----------------|------------|
| ①お客さまとの「つながり」強化 | ②デジタルサービス<br>拡大 | ③オペレーション改革 |
|-----------------|-----------------|------------|

イオン  
生活圈  
創造

### ①グループ統合データ基盤の整備

- ・顧客IDの一元管理
- ・共通会員基盤構築

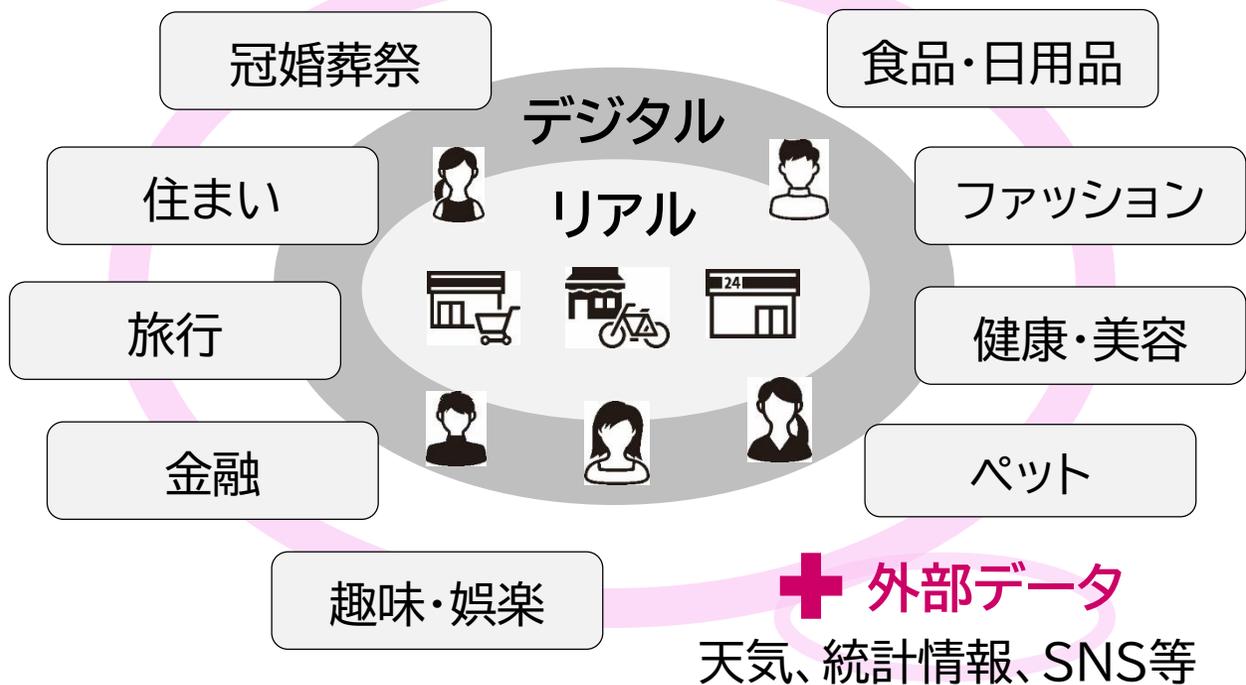
データ分析基盤の  
整備

外部との連携

お客さまとの  
長期的な関係構築

②グループ内の多様なデータを繋いで  
お客さまを多面的に理解する

③データを活用して体験価値向上と  
利益最大化を両立させる



### あらゆる局面でデータを活用する

イオン九州

- ・顧客の嗜好に合わせた販促
- ・価格の最適化
- ・リアル店舗の魅力向上
- ・新商品/新サービス開発
- ・新たなビジネスの創出 など

お客さま

## お買い物選択肢の拡大

おうちでイオン  
イオンネットスーパー

ONLINE  
DELIVERY

九州  
ブランド  
発信

## 九州の「魅力」を全国に発信

イオン九州 オンライン

AEON おお!  
e予約

### <ネットスーパー事業重点取り組み>

- ・自社ネットスーパーシステムの構築
- ・新規出店拡大
- ・ダークフロア構築
- ・オペレーション効率化・デジタル化
- ・ラストワンマイル直営化・エリア配送
- ・受取拠点・方法拡大(ロッカー・ドライブ受取)



### <EC事業重点取り組み>

- ・自社ECサイト構築(21年度完了)
- ・外部モールへの出店(21年度出店済)
- ・新ショップオープン
- ・取扱いアイテム数拡大
- ・EC専用デポ構築



### <ネットスーパー関連事業・サービス拡大>

- ・スマートNICO(無人店舗)出店拡大
- ・フードデリバリー実施店舗拡大
- ・移動販売事業
- ・近隣GMS商品お取り寄せ機能  
(SM店舗の品揃え拡大、利便性向上)



### <EC関連事業・サービス拡大>

- ・E予約機能の拡充
- ・ECシステムを利用したお取り寄せ機能  
(GMS小型店舗の品揃え拡大)
- ・越境EC(販売及びインバウンド誘客)
- ・ECマーケットプレイス構築  
(テナントさま商品の取り扱い)



多様な人材が活躍する企業

オペレーション改革  
25年度営業利益  
嵩上げ効果

+18億円  
(21年対比)

### オペレーション改革取り組み方針

#### 改革のポイント

- レジ業務改革
- 業務可視化
- 属人的業務ジョブ化
- デジタル化・生産性向上

#### 活用するテクノロジー

- ・AI活用
- ・ロボ・RPA化推進
- ・セルフレジ・レジゴー
- ・データ分析・活用
- ・カメラ活用
- ・スマホ活用(脱パソコン)

改革で創出された人時は

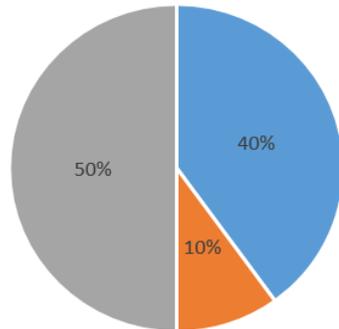
- ・接客業務
- ・インスタ製造業務

など、知覚と意思が必要な業務へシフト

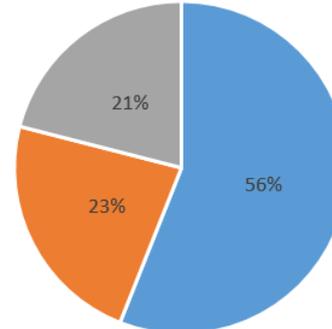
#### <DX総投資における投資ポートフォリオの変化>

システムの維持・更新中心から、オペレーション改革(生産性向上)、デジタルサービス関連(デジタル売上拡大・新規サービス開発)へ投資をシフト

21年度  
DX投資  
実績



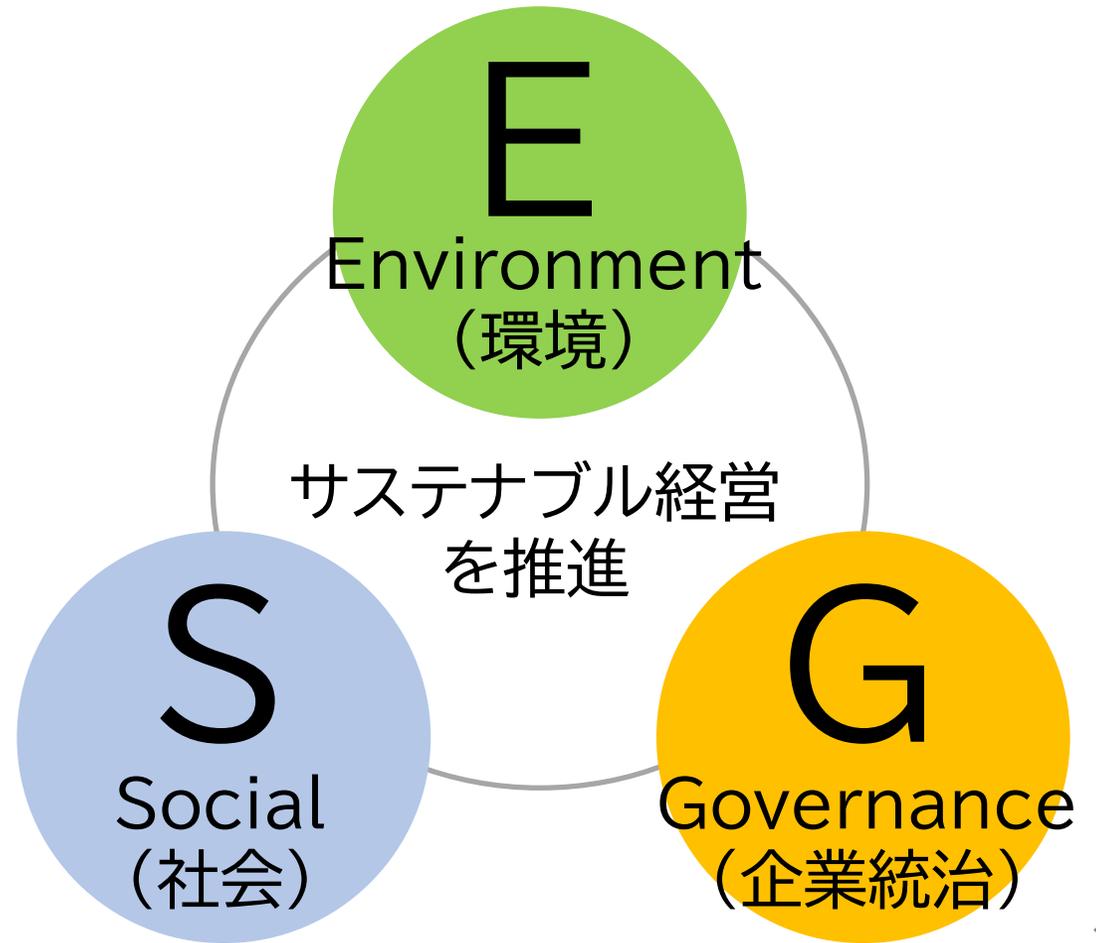
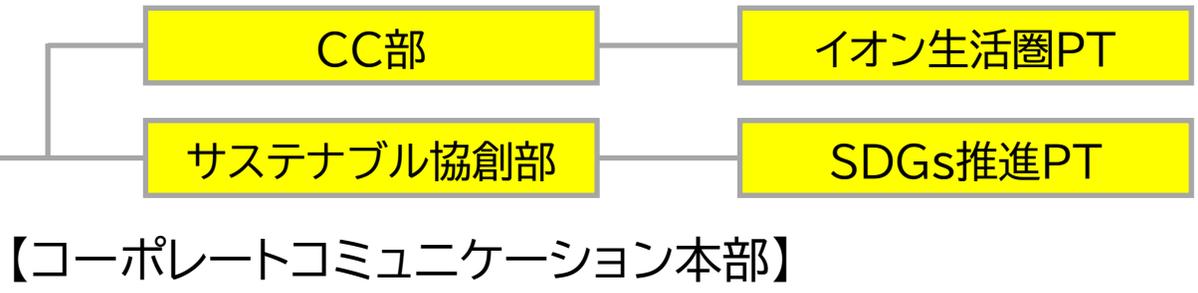
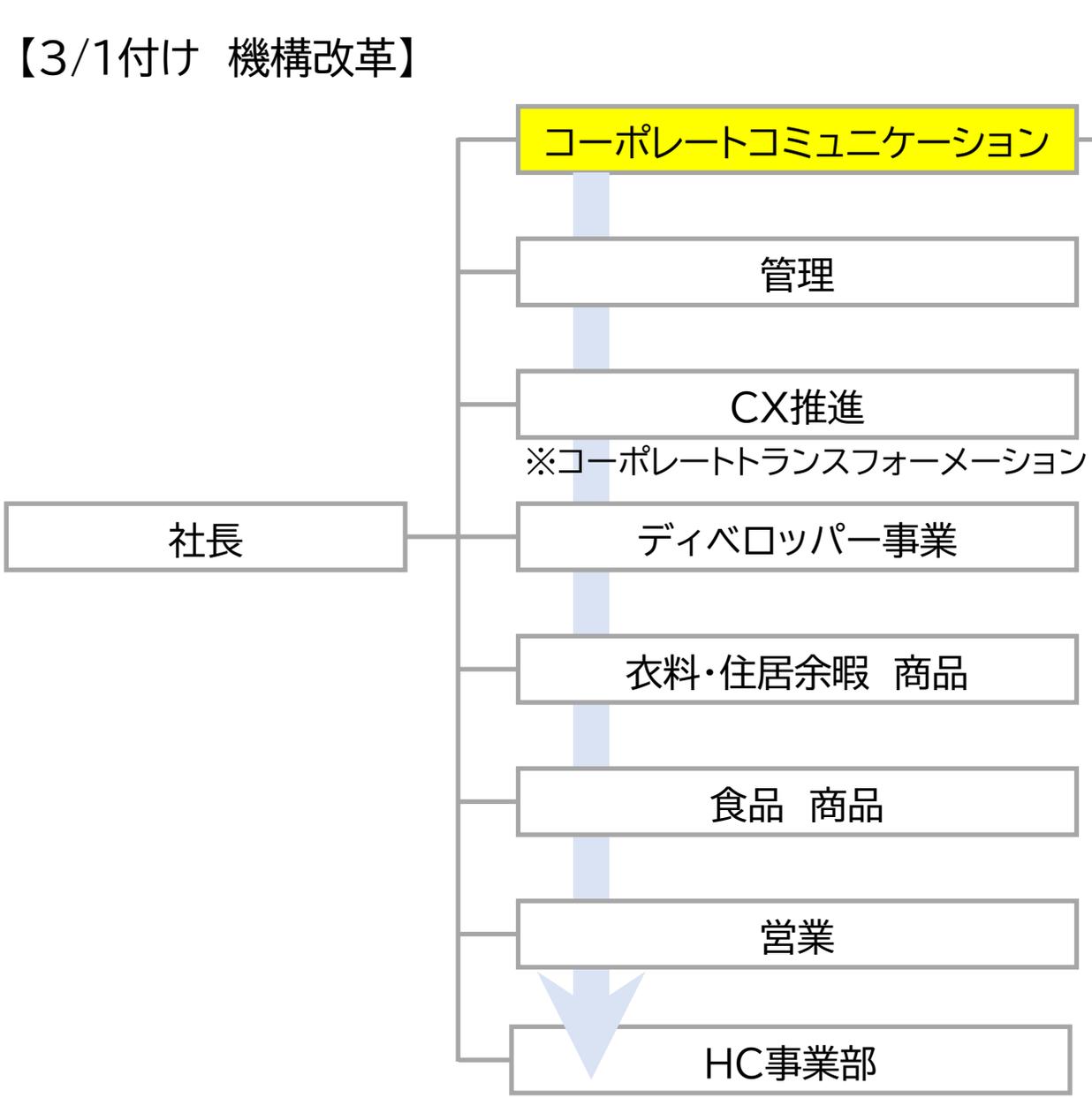
22年度  
DX投資  
計画



- オペレーション改革関連投資
- デジタルサービス関連投資
- システム維持・更新関連投資



【3/1付け 機構改革】



# イオン島原店 オープン！



地元に愛される“じもの”展開



衣料「インナー&カジュアル」



行政「しまばらん窓口 とるっと」



コミュニティバス「たしろ号」



ウエルシア薬局 長崎県初出店！



「浜屋 島原サロン」サテライト

まんなか AEON Shimabara  
あなたの暮らしのまんなか

## イオン島原店 プレオープン

**あす 3.16 [水] あさ 9:00**

店内での人の密集を防ぐため、入場制限を設けさせていただく場合がございます。

島原のみなさま、お待たせしました。  
日常にちょうどいい「心地よさ」「美味しさ」「便利さ」をお届けする“島原のまんなかとなる場所”として島原に住む人々の生活をサポートする施設を目指し、これからも、この街で、共に歩んでまいります。

# 福岡都市圏におけるシェア拡大 マックスバリュ下大利、エクスプレス出店



セルフレジ、「レジゴー」導入



エクスプレス住吉店 (21年12月)



フローズン商品の拡大



ネットスーパー受け取りロッカー設置



エクスプレス奈良屋町店 (22年2月)

# イオン若松ショッピングセンター リニューアルオープン

イオン若松ショッピングセンター  
リニューアルオープン

3月3日 9時OPEN

HOME  
WIDE

HOME WIDE  
堂々オープン!



ビードパパの  
作りたて工房

人気のできたてシュークリーム専門店  
ビードパパの作りたて工房



イエスマート  
Yesmart

北九州初出店!人気の韓国スーパー  
イエスマート



SPORTS  
AUTHORITY

OUTDOOR STAGE

キャンプやサイクリングなどのアウトドア専門店に  
スポーツオーソリティ  
アウトドアステージ

# ホームワイド若松店 新規オープン！



「植物のある暮らし」サンガーデン



「内からキレイ！外からカワイイ！」



ライフ館 日々の暮らしに密着した商品



ワーク館 DIY、ホビー、リフォーム



福岡県初出店 アウトドア専門ショップ



ワイド便サービス 福岡初進出！

# イオン若松店 モット！ジモット！活性化オープン



天然素材にこだわった「ラボスペック」



パルセイユ(株) オーガニック化粧品



食品売場 デジタルサイネージ展開



アウトドア「LOGOS」コーナー展開



ホームコーディ 専門店化推進

## 【価格対応】



～イオンは、今こそ企業努力が必要な時と考えます～

# トップバリュ5,000品目は、 4月以降も値上げいたしません。

昨今、多くの生活必需品の値上げが相次ぐ中、

お客様の負担は厳しさを増しています。

私たちイオンは、お客様の暮らしを守ることを最優先に考え、

昨年来イオンのプライベートブランドであるトップバリュの  
食料品・日用品 約5,000品目\*1の価格を据え置いてまいりました。

イオンだからできる独自物流の効率化や販売量の拡大などの企業努力により、

トップバリュの食料品・日用品の価格据え置きを、

本年6月30日まで延長いたします。\*2

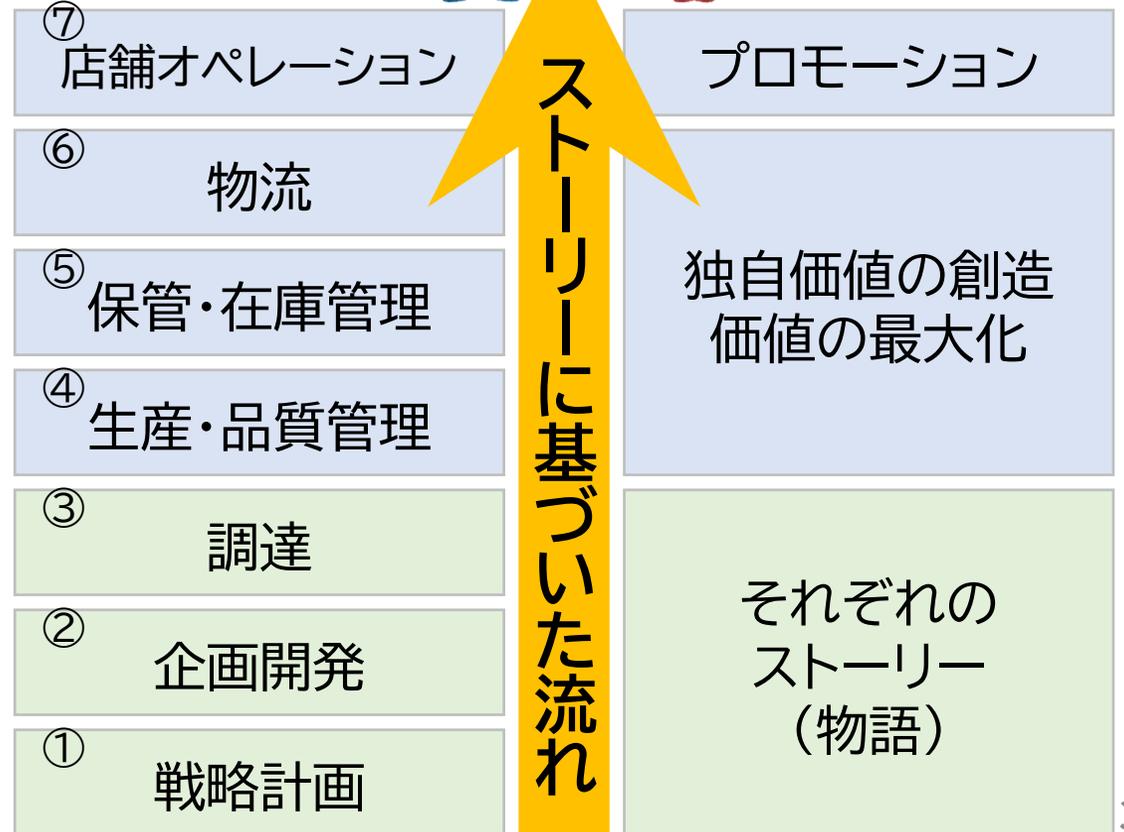
企業努力を続けてまいりますが、さらなる環境変化によりやむを得ず価格を改定する場合は、

前もって店頭にてお客様にお知らせいたします。

パートナーであるお取引先さまやイオングループ従業員57万人と力を合わせて、

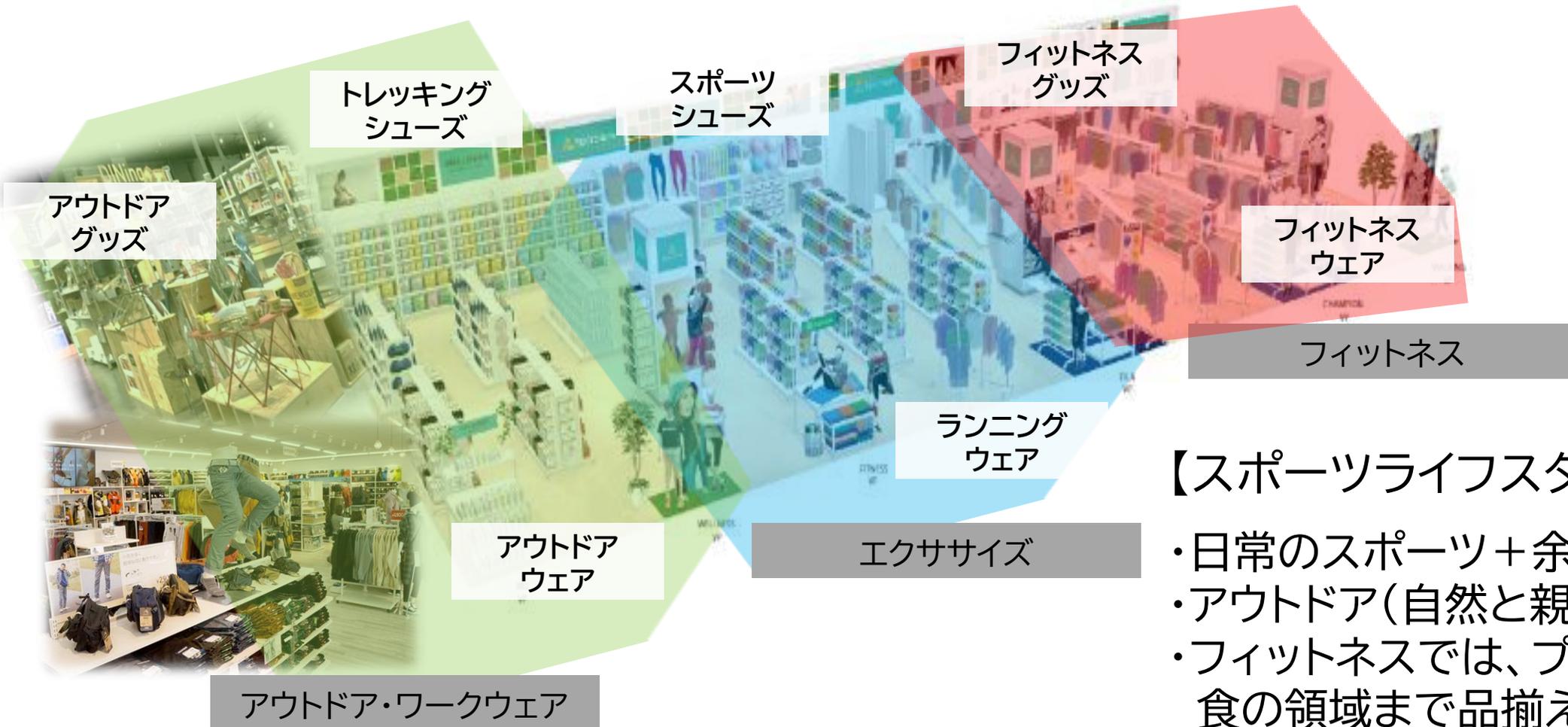
さまざまな不安が広がる今こそ、お客様の暮らしを応援し続けます。

## 【オリジナル商品の開発推進】



# 部門の垣根を越えたライフスタイル提案型売場

アパレル+シューズ+アウトドア+ワークウェア(+フィットネスクラブ)



## 【スポーツライフスタイル】

- ・日常のスポーツ+余暇のスポーツ
- ・アウトドア(自然と親しむ)
- ・フィットネスでは、プロテインなど食の領域まで品揃えを拡大

# フランチャイズ事業、サービスサプライ(催事) 新メニュー開発推進

## FC事業

スイーツ・カフェ

FOOD BOAT  
Cafe.

beard papa's  
fresh'n natural cream puffs



1区画2ショップ(イオン小郡)

【新規】 飲食

100 HOURS CURRY



イオンモール鹿児島内に出店

移動販売

ROYCE'



5台体制にて運営

## サービスサプライ



食物販の強化



生活歳時への対応

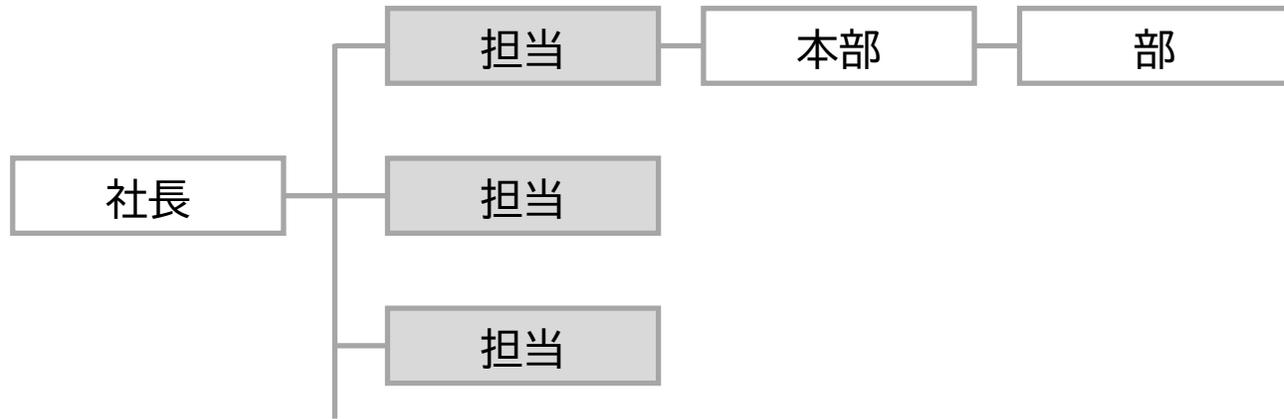


サービス

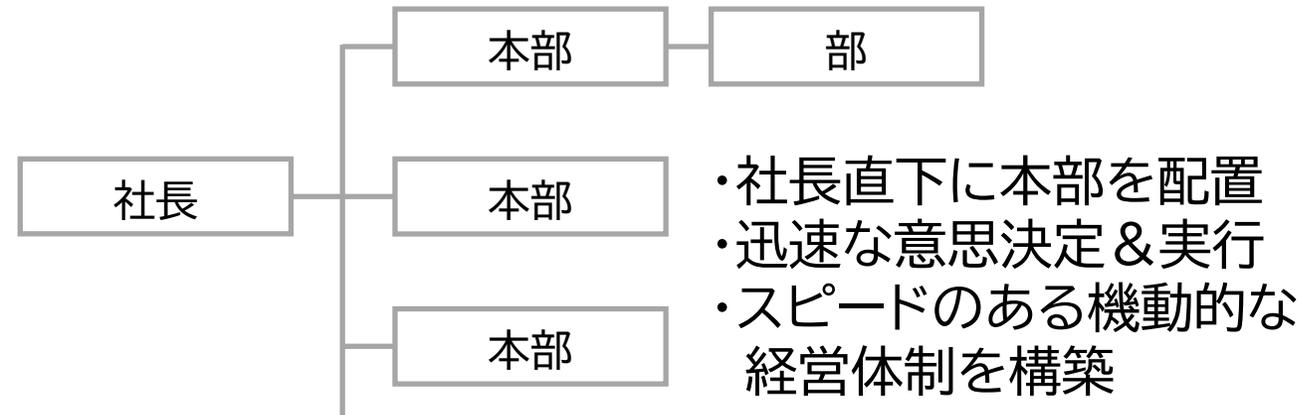
フードホールの展開

# より強固な経営基盤の構築に向けて 組織改革、DXによる生産性改善

## 【本社組織の見直し】



3/1付け機構改革にて 担当を廃止



## 【DX推進 店舗における生産性改善】

① 新コミュニケーションツール(本社⇄店舗)  
コミュニケーションの可視化、効率化、実行度↑

② AIナビキ  
割引率の適正化、誰でも適正に値下げができる

③ AIウォッチ  
カメラを活用して接客機会のチャンスロス削減

④ AIシフト  
勤務計画・作業割当の自動化

⑤ モバイルアシスタント導入  
店舗におけるパソコンありきの働き方からの脱却

⑥ 承り基盤の統合  
システムの統合による業務工程削減

# 2023年2月期の主な取り組み ～持続可能な社会づくりに向けて～

木を植えています  
私たちはイオンです

プラスチックはえらんで減らしてリサイクル

イオン九州はお客様とともに、使い捨てプラスチック削減に取り組みます。

**脱プラ**  
時代の新定番!

環境にやさしい**紙・木製**のスプーンやストローなどへ切り替えます。

限りある資源を大切に

カトラリー類 4月より順次、全店切替

毎日使うものから、始めてみよう。

## 未来が変わる選び方

01 プラスチックを使い捨てしない	リサイクル 買い物袋ディズニー 6月～	リサイクル フローリングシート 5月～	02 プラスチックを減らしてリサイクル	粘着クリーナー 5月～
03 資源は新しい種類で	増量 6月～	04 バイオマス 紙化 FSC段ボール	05 バイオマス開発中～	やわらかティッシュ 紙包装 6月～
06 毎日の選択が未来を定めます	07 Co2排出量削減	08 リサイクル開発中～		

住居余暇 サステナブル商品の展開



植樹活動継続 (イオン島原店)

九州力作野菜

九州力作果物

おいしさは、から

九州力作野菜、九州力作果物

wear new your Labo Spec

衣料品 環境配慮型商品の展開

イオンは、平和の追求を基本理念とし、あらゆる戦争に反対します。

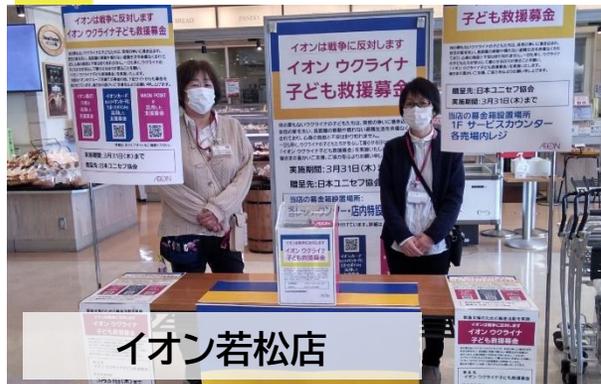
木を植えています  
私たちはイオンです

# イオンは戦争に反対します イオン ウクライナ 子ども救援募金



ウクライナに平和を！

ウクライナブルーとイエローで  
売場を演出し、平和を祈念



イオン若松店



イオン都城店



イオン直方店



イオン福岡伊都店



イオン有家店 展開事例

1. 2022年2月期(2021年度)の業績
2. 2022年2月期の主な取り組み
3. 2023年2月期(2022年度)の主な取り組み
4. 2023年2月期 業績予想

- 今後の成長に向け、新店・既存店の活性化等、店舗への投資に加えて、DXへの積極的な投資を計画
- DXを推進し、お客さまの利便性の向上、店舗の生産性向上に努め、増収増益を目指す

(百万円)	2023年2月期 (計画)	2022年2月期 (実績)	前期比 (※同会計基準比較)
営業収益	477,000	481,199 (※467,765)	102.0%
営業利益	5,800	5,663	102.4%
経常利益	6,000	5,994	100.1%
当期純利益	2,800	2,770	101.1%
1株当たり配当金	20円	20円 (普通配当15円+記念配当5円)	—

※2023年2月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用するため、当該基準に基づいた予想となっております。2022年2月期業績に同基準を適用した場合、括弧内の数値となります。

# ご清聴をいただきありがとうございました。



**AEON**  
**イオン九州株式会社**

本日発表の予想は、現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想と異なる場合があります。